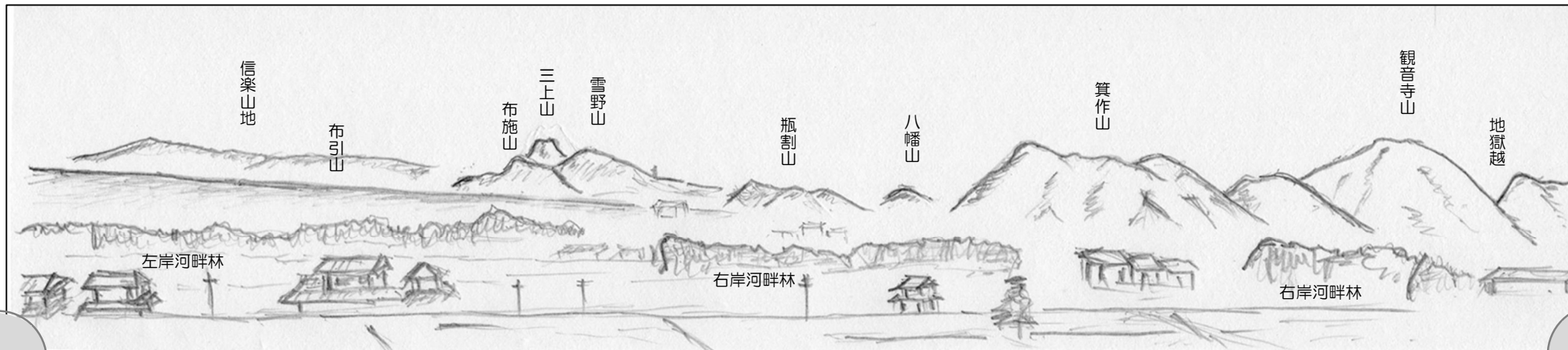




① 綿向山～布引山

標高 1110mの綿向山から布引山を経て、箕作山までが見渡せます。布が風に吹かれてまっすぐ伸びているように、一直線に傾斜する布引山の稜線は、まさに「布引」そのものです。その稜線上、突き出ている山並みがいくつもあります。頭をのぞかせているように見えるのは、近江富士三上山です。

② 布引山～観音寺山

布引山から右手方向に、箕作山・観音寺山が続きます。両者の切れ目には、近江八幡方面の甕割山・八幡山も見えます。箕作山の左端は、太郎坊山です。まるで、像の額のようなです。さらにその向こうには、湖西の比良山系の稜線が見えます。大比叡の雄大な力

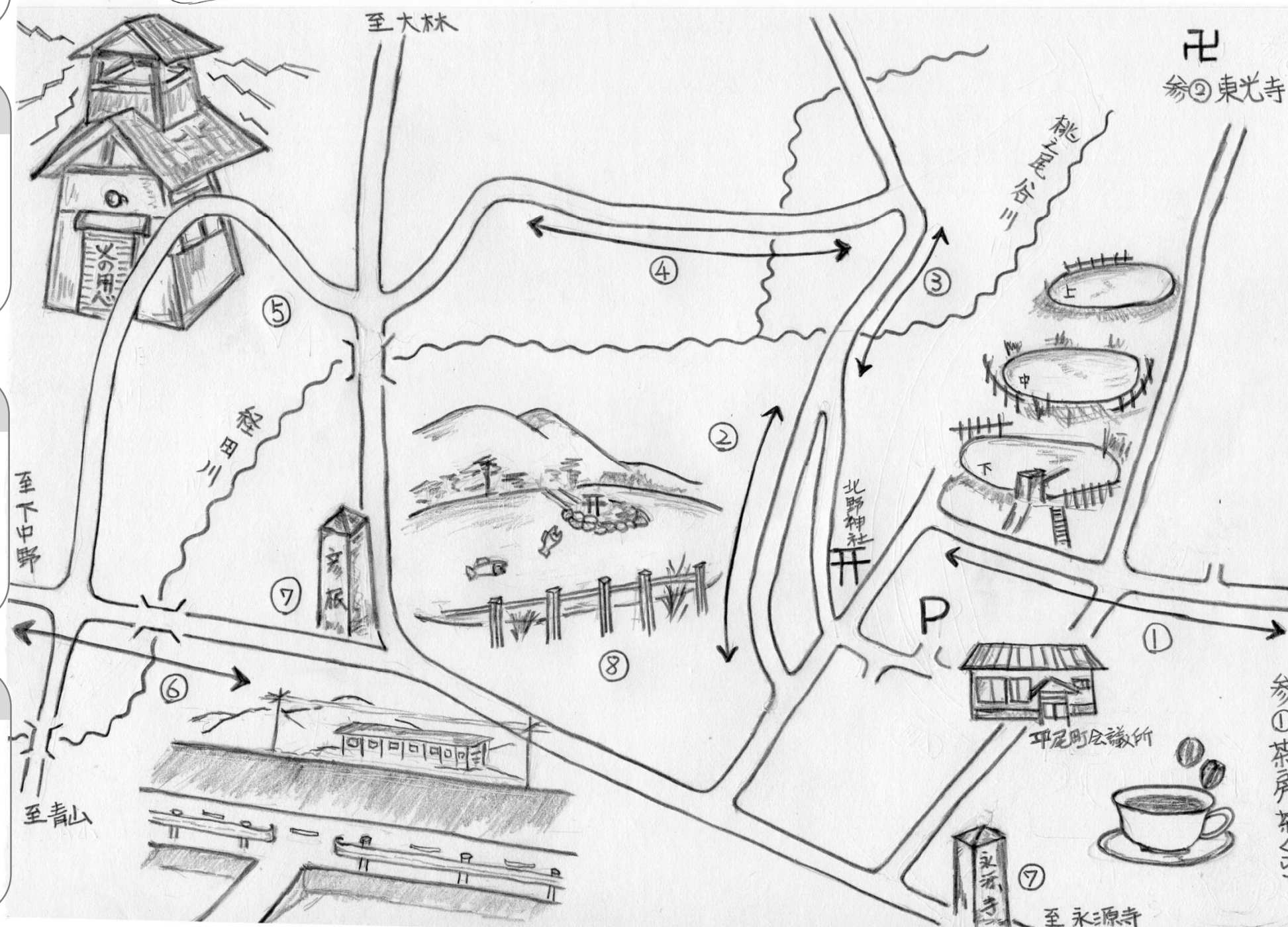
③ 永源寺ダム幹線水路

愛知川扇状地の歴史は、水争いの歴史です。扇状地は砂礫できていて、水は地下に潜ってしまいます。このため、水利を確保するのが難しいのです。水不足の状況を面的に改善したのが、永源寺ダムです。各種の水路を通じ、6900haの水田に、農業用水を安定して供給しています。

④ 小倉八景・鯉江八景

江戸時代、愛知川扇状地の水利確保に尽力したのが、湖東地区小田町の菱澤方勝です。彦根藩から命じられ、水路・堤防建設、荒田の再開発を行いました。その菱澤のもとには、地元の文化人が集まり句会などを催しました。そのとき生まれたのが、「小倉八景」「鯉江八景」です。当時の人もこの風景を…

西日本屈指の規模 愛知川扇状地 そのビュー スポットを往く



⑧ 扇状地を潤す郷溜

扇状地での用水確保のため、多くの溜池が造られました。園町の郷溜もその一つです。元禄 12 (1699) 年に完成したことが、その利用取り決めの古文書からわかります。園の他、青山・菅根・妹・中戸の五ヶ村が利用しました。2月、溜に祀られた弁天様を集落内にお迎えし、豊作と水利確保を祈ります。

⑦ 高野街道の道しるべ

彦根の清涼寺・世田谷の豪徳寺以外に葬られた彦根藩主は、井伊直興公ただ一人です。その墓は、永源寺にあります。側室松源院は、直興公の墓所参詣ため、自ら出資して 25 本の道標を設けました。そのうち 11 本が、愛東地区内に建てられました。現状で確認できる 6 本のうち、3 本がコース内にあります。

⑥ 河岸段丘妹面・園面

愛知川扇状地には、典型的な河岸段丘がみられます。川の堆積と浸食作用が繰り返されることによってできる、階段状の地形です。愛知川右岸では、低位・中位・高位各段丘面に、妹・園・百済寺の名が与えられています。この風景は妹面から園面を見た時の、段丘崖です。

⑤ 中世の面影太鼓櫓

かつて火事や洪水、寄り合い開始の合図に、太鼓を打ち鳴らしました。その施設が、太鼓櫓です。二階部分に太鼓があり、中世惣村を彷彿とさせます。東近江付近では、ごくたまに今も太鼓櫓を見かけることがあります。園町のも、その一つです。一階部分には、可搬式の消防ポンプが収まっています。